

たかまつだより No.65

発行・編集：高松地区まちづくり委員会広報記録部会・高松公民館



地元のダンスユニットRAI-GI-Nによるダンスレッスン



まつりの最後はみんなで
ダンシングヒーローを
踊りました！



11月17日(日) 高松まつり開催!!

朝方降った雨のため、一時間遅れの開催となりました。屋外の模擬店では、毎年好評の焼きそば、フランクフルト・チョコバナナ等に加え、高松中学校二年生と鹿嶋市高校生会のブースが新たに加わりました。また、ステージでは、木滝あんなば囃子の他ダンスやミニライブなど、バラエティに富んだ内容となりました。

また、公民館施設内では作品展、ポチャ体験、着付けの展示や体験コーナーなどが行われました。天気もいつの間にか晴天となり、大変多くの来場者で賑わいました。

たかまつびと No.10

今回の「たかまつびと」は佐田地区にお住いの杉本真弓さんを紹介します。



Q: 現在、高松公民館で「かしま食ラボ」という料理教室を開催していますが講師になるきっかけは？

A: 自宅で先生を招いて料理教室をしてもらっていたのですが、コロナ禍で中止となり外出もできなかったので、自分で小麦粉や乳製品や砂糖を使わず、どこまで美味しい「いちごパフェ」を作れるか試してみようと思いつき、ひとりでチャレンジをしたんです。試行錯誤をした結果、米粉や甘酒などで美味しいいちごパフェを作ることが出来ました。コロナが落ち着いてきた時にお友達にそのいちごパフェを披露したところとても好評だったんです。それがきっかけで、銚田二高の食品技術科での社会人講師のお話をいただきました。体に優しい食材を使った製菓のレシピを自分で考え、半年間教えることが出来、自信になりました。それまでは料理を仕事にするなど思いもしなかったのですが、理想の味に近づけるために調味料を細かく量り、分量を決めてレシピを考えることが自分に合っていることに気が付きました。その後、幅広い世代の方に教えてみたいと思い、かしま灘楽習塾で講師をやることにしました。

Q: 「かしま食ラボ」ではどのような料理教室ですか？

A: もともと東洋医学に興味があったので、食養生ジュニアコーディネーターの資格を取得しました。そこで学んだ食養生の考えを軸として、玄米の炊き方や食べ方、日本

伝統である発酵食品の仕込みなど、年間を通して体に優しい食材を選び、それを使えるようになることを目指している料理教室です。参加した皆さんは1年経つととても仲が良くなります。世代を超えたコミュニティの場にもなれば良いと思っています。

Q: その他どのような活動をされていますか？

A: 自宅でも料理教室を開いて、もう少し深い内容を少人数のクラスで教えています。たくさんスパイスを組み合わせてカレーを作るスパイスの会など、1回だけの料理教室も好評です。

Q: 今後はどのような活動をしたいですか？今後の展望は？

A: 鹿嶋市の豊富な食材を活かしたレシピで地域の人たちの食生活を健康で豊かなものにしていきたいです。鹿嶋産の食材を使ったカフェや、野菜の直売所があるようなキッチンスタジオを作れたらと思っています。



～オクトーバーウォーク結果発表～

10月1日～31日まで開催していました

オクトーバーウォークは、40名弱のエントリーがありました。

参加して下さったみなさん、ありがとうございました。

第1位は、木滝地区の信楽さんでした。

高松かるた大会参加者募集

日時 令和7年1月11日(土)

9:00～12:00

幼児・低学年・高学年・シニア・一般の部

申込：電話または直接高松公民館まで

☎：83-0841

いつもながら天気の良い高松まつりも、一時間遅れで始まり、無事に終わることが出来ました。沢山の皆さまに来ていただき広報記録部が担当のチョコバナナも完売でき、ありがとうございました。

今年度は大きなイベントは、あと高松かるた大会がありますので、皆様方のご参加を宜しくお願い致します。(戸田)



○月△日☆曜日

日直

9月7日(土)

晴天のもと、高松地区住民と高松中学校の合同体育祭『第10回 飛翔祭』を開催しました。今年新たな地区対抗種目として「ブロックわたし」が加わり、熱気に包まれた中でも大変賑やかな体育祭となりました。地区優勝は木滝地区、中学生の優勝は白虎団でした。

たかまつ 飛翔祭



中学生の優勝は「白虎団」!



地区優勝は 木滝地区でした!



中学生ブース・高校生ブース初出店してくれました!

高松中学校2年生のブースでは、ひもくじと手作りの射的、高校生ブースでは、シャボン玉アートとハンコ作り、ミサンガとちびゴムアクセサリー作りを行いました。



私たち「高校生会」は、中央公民館を拠点に活動していて、「て〜ら祭」にも参加しました。小学生や中学生とたくさん触れ合っとても有意義でした。



高松中学校2年生で出店しました。出店内容はレクリエーション活動の中でアイデアを出して決めました。お客さんがたくさん嬉しそうに参加してくれたのでとても楽しかったです。(中学生)



子どもたちに大人気の射的



大好評の模擬店



ポッチャ体験



高松幼稚園・高松小中学校の作品も展示されました。



三笠 信晃さんの作品 ▶ 糸のように細く切った和紙で造られた雄鶏

高松中学校 高松小学校

新人体育大会県大会

10月下旬に、新人体育大会県大会が行われました。本校からは、男子バレーボール部女子バスケットボール部がどちらも合同チームでの出場でしたが、他校の生徒と協力し、力の限り堂々と戦いました。また、個人競技では、卓球、柔道、水泳に出場しました。出場を果たしたことは、生徒たちにとって自信につながる素晴らしい機会になりました。応援してくださった方々に感謝申し上げます。

6年生 修学旅行

10月にずっと楽しみにしていた修学旅行に行きました。修学旅行は全部楽しかったけど、ホテルで過ごした時間が一番楽しかったです。夜寝るときに、普段話さないことを話して、友達の知らない一面を知ることができました。 6年 風間心来



筑波山遠足

ぼくは、筑波山を登り切ることを目標にしました。登っているときに急なところは辛かったけれど、友だちと手を差し伸べ、助け合いながら登ることができました。頂上の景色はとてもきれいで思い出になりました。

4年 伊藤颯佑



筑波山遠足

自分勝手な行動をせず、みんなで歩くペースを合わせながら登山をすることができました。つらいときにもはげまし合いながら登れたのがとても心に残りました。学校生活でもはげまし合うことを大切にしていきたいです。

3年 中根かな音

文化祭実行委員

私は司会進行をしました。最初はうまくできませんでしたが、昼休みに実行委員で集まって何度も練習をしました。当日は、照明や話始めのタイミングも合い、進めることができました。みんなで頑張った良かったと思える文化祭になりました。

5年 雨貝奈柚

松輝祭

わたしは10月26日に、しょうきさいのゆうしはっぴょうで、ひとりでピアノをひきました。すこしまちがえてしまったけど、いっしょうけんめいひきました。まだまだ、もっとしょうずにひけるようになって、がんばりたいです。

1ねん 川口七い



チアダンスでは、今まで練習してきたことを出し切り、2人で息を合わせて踊ることができました。みんながペンライトや名前のボードを使って盛り上げてくれて、うれしかったです。

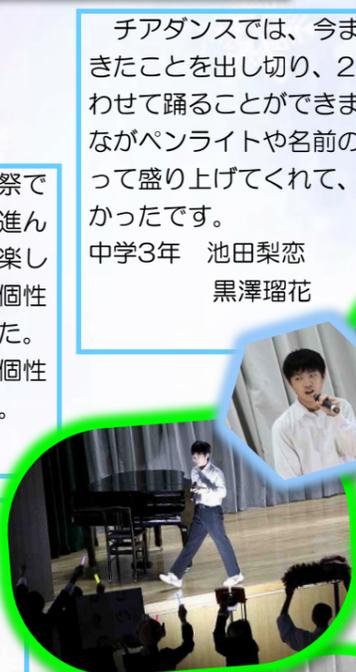
中学3年 池田梨恋
黒澤瑠花

文化祭では初の小学生と合同の文化祭でした。最初は不安でしたが、文化祭が進んでいくうちに不安はなくなり、とても楽しかったです。文化祭のテーマは「彩～個性と笑顔で染めるベストメモリー」でした。このテーマのようにみんなそれぞれの個性や笑顔が全体に広がってよかったです。

中学3年 田仲優空

最後の文化祭の合唱では、緊張しながらも練習の成果を発揮し、体育館によい歌声を残すことができました。次は送られる側としての卒業式があります。練習よりも、文化祭よりもよい最高の合唱を響かせられるようにしたいです。

中学3年 樋口芽衣



吹奏楽



2年



1年



3年



4年

鎌倉大仏



6年



3年



1年



中2年



5年



10/19 かるたの名所ウォーキング + 環境美化

公民館

10月19日(土)かるたの名所ウォーキング+環境美化を開催しました。一般、小中学生の約50名が参加し、木滝・佐田地区の5kmコースを歩きました。

か 鉄クソの語る比屋久内製鉄跡

鉄クソとは製鉄クズのこと。公民館の裏には全国各地有名な製鉄跡があり、原料の砂鉄は利根川河口から鹿島一帯の浜でとったといわれている。

や 真夏に雪ふる富士の山

昔、ある夏のこと、通りがかった大町の人々が「木滝の富士山には雪がない」とバカにした帰り道、白いものが降ってきて、驚いた人々は頂上に石塔を建てて祈ったという。

も 物忌のあわれとどめる弁財天

ある年、神栖の溝口から物忌役に選ばれた娘が初潮を迎え、物忌役になれなかったことを苦に、佐田池に自ら入水したという。池のほとりに弁財天様として祀られている。

し 清水くんで畑仕事は十王の滝

昔は佐田の台地で畑仕事を人々に重宝がられ、末期(し)に(し)を迎えたら人がもう一度飲みたい水だったといわれている。

け 芸座の音ひびくお稲荷さん

芸座とは笛や太鼓で奏でるおはやしのこと。一時途絶えていたが、近年復活された。かつては山車も、初午には獅子を先頭に家々をはやし歩いた。

ま まつるごころえ国神社

古墳時代、石の棺に死者をとむらった際その枕として置いた石がなせ国神さまに祀られていたのか?その時代も、発掘された場所も、謎につつまれたまま。

な 泣き供養盆におこなうおっちゃんやー

お盆に行われる子どもたちの行事で、大きな位牌を先頭に鉦や太鼓を鳴らし区内を歩く。昔、疫病で死んだ人々の供養のために始められたのではないかとされている。

高松ようちえん

運動会 9月28日(土)

心配された天気も持ち直し、第52回高松幼稚園運動会を実施しました。沢山の保護者の皆様の応援に園児たちは勇気ももらい、カー杯取り組みました。かけっこやダンスなど、練習の成果を発揮して一人一人が素晴らしい活躍を見せてくれました。特に年長ゆり組さんは、進行のアナウンスをしたり、会場の準備を手伝ったりと大活躍でした。会場からの大きな拍手に、園児たちはみんな誇らしげな表情でした。やり遂げた満足感は今後の園児たちの生きる力の原動力に繋がったことでしょう。



親子土器作り体験 10月10日(木)

ときどきセンターの皆様のご協力を得て、鹿嶋の歴史や土器に関心をもってもらうと、全園児で土器づくりに挑戦しました。鹿嶋市から出土した土器や埴輪を見せていただいた後、センターの方に作り方を教えていただきました。親子で相談しながら、真剣な表情で思い思いに作品を仕上げました。「早く帰りたい」「来年もやりたい」という声上がり、楽しい貴重な体験になりました。



交通安全教室 10月8日(火)

「交通安全母の会」主催による世代間交流型の「交通安全教室」を実施しました。ご参加いただいた地区の皆様、保護者の皆様に温かく見守られる中、園児たちは警察署の方と腹話術の「ケンちゃん人形」のやりとりで引き込まれ、道路の安全な渡り方やシートベルトの大切さに気付くことが出来ました。横断歩道を渡る練習やO×クイズなどを楽しみながらあっという間に時間が過ぎました。園児や保護者、地区の皆様と三世代が一緒になって、楽しく命を守る学習ができました。地区の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



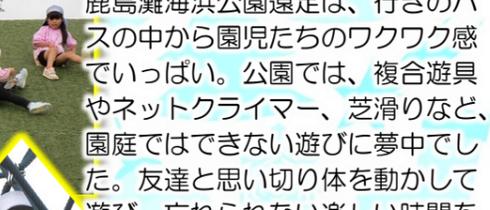
さつまいも掘り 10月23日(水)

園庭にある畑で育てたサツマイモの収穫日、園児たちは土から顔を出したサツマイモを一生懸命に掘り起こしました。今年はカボチャのような巨大なサツマイモがごろごろ。園児たちは、その大きさに「持ち上げられない」「太っさい」と歓声を上げていました。掘りたてのおいもをふかしてもらい食べると、園児たちのおいしい笑顔が広がりました。秋の実りを感じた1日でした。



鹿島灘海浜公園への遠足 10月16日(水)

鹿島灘海浜公園遠足は、行きのバスの中から園児たちのワクワク感でいっぱい。公園では、複合遊具やネットクライマー、芝滑りなど、園庭ではできない遊びに夢中でした。友達と思い切り体を動かして遊び、忘れられない楽しい時間を過ごしました。遊んだ後、みんなで食べたお弁当はとびきり美味しく園児たちの最高の笑顔が広がりました。秋曇りでしたが、外で体を動かして遊ぶ気持ちよさを味わった楽しい遠足になりました。



11/9 凧作り教室

今回は高松まつりに凧を展示するため、いつもより早く凧作り教室を実施しました。参加した19人の子どもたちは、人気のキャラクターや来年の干支のへびなどの絵を描き、「凧先生」こと本田先生の指導もと、上手に六角凧を作りました。



11/13 秋の寄せ植え講座

秋の寄せ植え講座を開催しました。15名の参加があり、ピオラやストックなどの秋から春まで楽しめる花を寄せ植えました。寄せ植えは、高松まつりで展示しました。

